

小論文の傾向と対策

方式 日程	学部学科	出題内容
指定校推薦	学芸学部国文学科	次のア、イのどちらか一つを選び、800字程度でまとめなさい。 ア、自分が好きな文学作品をとりあげ、作者、作品についてまとめ、自分なりに論評しなさい。 イ、日頃聞いたり目にしたりする日本語の中で気になる例をあげ、自分なりに分析しなさい。
	学芸学部国際英語学科	日本に定住しているけど日本語が十分できない外国人(A)に対する支援と、日本に観光で訪れる人々(B)への支援では異なるものが求められます。あなたが考える「支援」について、(A)、(B)それぞれの人々への対応を具体的に示してください。(1,000字程度)
	学芸学部化粧ファッション学科	夏まつりでは、「男性が洋服で女性が和服(浴衣)」というカップルは多くいるが、「男性が和服(浴衣)で女性が洋服」というカップルは比較的少ない。その理由に関してあなたの考えを述べなさい。(600字以上800字以内)
	学芸学部ライフプランニング学科	日本における米の1人当たりの年間消費量は、1962年度の118.3kgをピークとして、その後減少し、2017年度には54.1kgと半分以下まで減少している(農林水産省・食料需給表の1人1年当たり供給純食料にもとづく)。一方、農林水産省の「米をめぐる関係資料」(2019年7月)によると、米消費における中食(注)・外食の割合は増加しており、2018年にはその割合は30%となっている。残りの70%は家庭内消費向けである。以下の問いに対するあなたの考えを、800字~1,000字程度にまとめなさい。 <問い> ・米の1人当たり年間消費量が減少した原因として、どのようなことが考えられるだろうか。 ・中食・外食向けの米消費が増大した背景として、どのようなことが考えられるだろうか。 ・米の消費量は今後どのように推移していくだろうか。 (注)中食とは、市販の弁当や惣菜、家庭外で調理・加工された食品を家庭や職場・学校等で、そのまま(調理加熱することなく)食べることを指す(食料・農業・農村白書にもとづく)。
	学芸学部心理学科	あなたが心の問題で悩んだときには、どのような方法で解決していますか。実際の例でも架空の例でもよいので、具体的な方法を説明し、その方法がなぜ有効なのかについて、800字~1,000字程度で論じなさい。
	健康栄養学部健康栄養学科	(管理栄養士専攻・食料栄養専攻共通) 最近問題となっている「健康・栄養・食」の問題について、自身の意見を800~1,200字で論じなさい。
	児童教育学部児童教育学科	現在、子どもたちには自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められており、「主体的・対話的で深い学び」の視点から子どもの資質・能力を育む教育の考え方が重要視されています。この「主体的・対話的で深い学び」を実現するために教師や保育者にはどのような役割が求められると考えますか。幼稚園、保育所、子ども園、小学校、中学校のうち、あなたが取得を目指す教育職または保育職の一つ挙げ、あなたの考えを800字程度で述べなさい。
C方式 3月13日	学芸学部国文学科	自分が話している方言について、共通語と比較しながら具体的な違いをまとめ、方言についてどのように考えているか、800字程度でまとめなさい。
	学芸学部国際英語学科	日本にいて、海外メディアが発信するニュース(主に英語)から情報を得ることの利点はどのようなことだと思いますか。あなたの意見を具体的な理由を示して述べてください。(1,000字程度)
	学芸学部化粧ファッション学科	現在の、40代日本人女性のよそおい(服装、化粧、ヘアなど)の特徴を挙げ、そのファッションに対するあなたの考えを述べなさい。(600字以上800字以内)
	学芸学部ライフプランニング学科	世界経済フォーラム(WEF)によれば、日本のジェンダーギャップ(男女格差)ランキングは149カ国中110位と最低レベルである。そのような中、こうした格差解消に向けた取り組みが進められている。配布資料(朝日新聞2018年12月20日東京朝刊「女性経営者の壁 壊そう」)を読み、男女格差の解消に向けてどのような取り組みが必要か、800字~1,000字程度で論じなさい。
	学芸学部心理学科	カウンセリングを行う時のカウンセラーの基本的姿勢は、「傾聴」「共感」だと言われます。傾聴・共感は、悩みを抱えて相談に来られた人にどのような効果をもたらすのでしょうか。800字~1,000字程度であなたの考えを述べなさい。
	児童教育学部児童教育学科	保育や教育の現場では、子ども達が集団として合意を形成することが必要な場面があります(例えば、発表会の演目を決める、調理実習のメニューを決める等)。合意形成の過程は、子どもが社会性やコミュニケーション能力を身につける上で重要だと考えられますが、このような場面で、保育者・教育者としてどのような支援が大切だと思いますか。800字程度で述べなさい。

傾向 短文型・新聞記事の読解を含む課題文読解型問題という例年通りの出題であった。

① 出題形式

指定校推薦入試A・一般入試C共に同じ学部学科で制限字数は変わらない。学芸学部国文学科は「800字程度」、同国際英語学科は「1,000字程度」、同心理学科及びライフプランニング学科は「800~1,000字程度」、同化粧ファッション学科は「600~800字以内」、児童教育学部児童教育学科は「800字程度」、健康栄養学部健康栄養学科は「800~1,200字」となっている。学芸学部国文学科指定校推薦入試Aのみ複数課題から1題選択して解答する形式である。短文型を中心とする中で学芸学部ライフプランニング学科のみC方式において新聞記事を資料とした読解問題であった。

② 出題内容

推薦入試A、一般入試Cを問わず、いずれも学部学科に関

する内容が出題されている。テーマは現代社会において現在生じている問題、あるいは関心を呼ぶ問題である。設問は問題解決に向けて理由を問い、取り組み方を具体的かつ主体的に論じるという論理性を重視した問となっている。そのために現象をよく観察するという観察眼を磨く必要がある。各学部各学科の性質に沿った事柄や現代の社会問題に対する関心の高さ、物事を論理的に分析する力が問われている。

③ 難易度

指定校推薦入試A、一般入試C共に制限字数的にも内容的にも難易度は高い。普段から問題意識を持って生活するようにし、志望学部学科に関する問題に対してその原因理由を考え、問題解決の取り組み方を提案できるようにしておく和良好的。

対策 短文型・課題文読解型問題に効果的な対策を提案し、学習のサポートをする。

① 対策の視点

「短文型」と「課題文読解型」の問題に取り組むと共に志望学部学科に関係した問題及び分析など知識や発想を吸収し、表現できるようにする。

② 短文型

まず、「構成」「表現」を学ぶ。そのために「解答例を写す」ことから始めよう。「段落」「文の順序」「語の使い方や係り受け」などを意識しながら書き写すとよい。次に、志望学部志望学科に関する学習を行う。新書や新聞記事（社説や投稿記事）などを読んで知識や見解を吸収しよう。また、志望学科に則った小論文課題の中で課題文読解型の問題を選び、その課題文と解答例をできるだけ多く読む。そして、過去問に取り組み答案を作成してみよう。できれば数年分が望ましい。その際、制限字数は気にせずに納得のいくまで考えることだ。「一度出題された課題は形を変えてまた出題される」と考え

て取り組んで欲しい。

その後は志望に基づいた課題をできるだけ多く解いていく。その際、制限字数と形式段落の数、述べる事柄の順番を意識して答案を作成するとよい。

③ 課題文読解型

ポイントは「要約」と「考への論述」の2点である。教科書の文章（評論、随筆）や新聞記事などを200字（100字）以内で要約する。「考への論述」は、要約内容に対して賛成・反対を示し理由を述べることだ。問題解決のために自分がどのように取り組むかということについて述べられるように使用。なお、資料読解型が出題される可能性もあるので、図やグラフなどの読み取りも練習しておこう。資料は特徴的な箇所について社会的背景や原因を指摘することがポイントだ。社会科（政治経済）の資料で練習するとよいだろう。

出題例 令和2年度 指定校推薦 学芸学部心理学科

あなたが心の問題で悩んだときには、どのような方法で解決していますか。実際の例でも架空の例でもよいので、具体的な方法を説明し、その方法がなぜ有効なのかについて、800字～1,000字程度で論じなさい。

解答例

高度なICT社会の中で私たちは他者からの受け止められ方に敏感である。否定的な受け止められ方は自分の存在自体の否定であると思込みやすい。そのため、SNSなどを利用して肯定的な自己を演出していくのである。

私も友人たちから否定的に受け止められはしないか不安になる時がある。そのため本心を偽ることもある。こうした友人関係は浅く表面的な関係であり、深く強固な友人関係を築くべきだという意見があっても、私は本心をぶつけることで他者との軋轢を不用意に生じる事態はできるだけ避けたいと思う。

私が人間関係で不安になるときは読書あるいは映画鑑賞を行う。人間性を深く見つめた作品や多彩な人間関係を描いた作品があるからだ。特に古典と言われる作品には普遍的な事柄が秘められていると考えられる。藤原道綱の母による『蜻蛉日記』は夫婦関係に悩む女性の姿が描かれている。現代にも通じる悩みだと思う。もちろん、自分が悩む原因と状況とが全く同じであるという作品はないが、似たような悩みを題材とする作品はある。そうした作品を参考にして、私はまず自分を変える努力をする。私心に凝り固まった考えはしていないか、配慮の足りない言動をしていないかなど自分の言動を振り返り、自分の言動を他者との協調を踏まえたものに変えていくのである。これは単に自分を殺して他者に追随するというのではない。社会的な自己を育むことである。自分の置かれている状況を客観的に捉えることは難しい上に不安で心が一杯であるときは余裕もない。そのため心の悩みを解決する発想は生まれにくい。その点、作品は人間関係を多面的に描き、しかも現実の棘を感じさせず体験できるので、余裕をもって見つめなおすことや前向きな考え方をもちつことができるようになる。

私が心の問題で悩んだ時には、文芸作品や映画作品を参考にして不安を一人で抱え込むことを止め、自分を見つめなおし社会的な自己へと成長させることで解決する。

学習法【小論文の基礎を学ぼう！】

① 小論文とは何か

制限時間の中で特定の設問に対して文章で解答する。設問に対して的確に答えることが求められる。主観性が強い「作文」に対して「小論文」は論理性、客観性が強くなる。

② 小論文の課題の種類

① 短文型

「○○についてあなたの考えを述べなさい」など比較的短い語句や文でテーマを示し、それについて答えさせる。

② 課題文読解型

一定の分量の文章を読ませ、その内容や文章の一部について考えを答えさせる。「小論文」の代表的な出題形式である。

③ 資料読解型

図やグラフを提示し、そこから読み取れる事柄について答えさせる。文章と違って図やグラフの読み取りを練習する必要がある。

③ 小論文の5つのポイント

次の5点に気をつけよう。①原稿用紙の使い方。②正しい日本語。③読みやすい文字。④各課題における条件を満たすこと。⑤主観と客観のバランス。

④ 表現の14か条

①書き出し、段落の初めは一マス空ける。②「」、『』を正しく使う。③数字、英語、略語、カタカナを正しく書く。④話し言葉、流行語、略語を使わない。⑤漢字、熟語を正しく書く。⑥常体、敬体をどちらかに統一する。⑦体言止め(名詞止め)・比喩など表現技法の使用には注意する。⑧形式段落を設定する。⑨主語と述語、修飾語と被修飾語を正しく対応させる。⑩「～て、～に、～を、～へ」などの助詞を正しく使う。⑪読点(、)を使いすぎない。⑫接続語、指示語を適切に使う。⑬身近な具体例を加える。⑭感情的な表現を避ける。

【小論文の対策を練ろう！】

① 自分の志望学部学科に合わせた知識を吸収する。

志望学部学科に関係する本を読んでみる。新聞やニュースでも良い。本は全部読まなくてもよい。気になるところ、理解できそうなところ、興味をもてそうなところを読み、メモを取る。その後メモを見て知識を整理しておこう。

② 小論文の解答例を書き写す。

まず、声に出して表現や考え方、話の進め方を意識して一字一句をそのまま書き写す。次に、思い出しながら書いてみる。解答例を見ながらでもよい。大体の話、内容、話の進め方がわかってきたら、何も見ないで自分なりに書いて見る。こうして自分なりの文章が書けるようになる。

③ 志望学部学科に即した形式、テーマの問題を解く。

時間を気にしないで書いてみる。それを先生に添削してもらおう。添削された事柄を意識してもう一度書く。これを繰り返す。自信がついてきたら制限時間内で書く。徐々に制限時間内で書けるようになるので、根気よく頑張ってください。